



# めだかの町

## 泳ぎ回るめだかたち

### ■「つぶ食」を求めて水窪の里へ珍道中!

「昔ながらの」つぶ食料理「もいね」と、今村純子メダカと伊藤英雄メダカに呼びかけ、妻の明美さんと私(神原幸雄メダカ)の四人で7月13日に行つて来ました。運転手は伊藤メダカ。北遠地域は若かりし頃、車のセールスで来たとのこと。助手席の今村メダカは静岡県の農村生活改善普及員で、北遠地方の「婦人方と農山村の生活改善に取り組んでいたとのこと。こちらにもまた最高の案内人。後部座席の神原メダカは、3日前にちよつと体調を崩したこともあつてカラ元気。私たちの体調を気遣つて伊藤メダカ、山間のくねくね道を慎重運転。今村案内人「あそこはこうだった、ここはこうだった」と、その記憶や凄まじいそんな説明を聞きながら、時代の流れの中で農山村がどのように変遷しているのか、改めて考えさせられたひと時でもあつた。

『あれ、相月?』、そう山田修平・ひろ子夫妻メダカの『縁側カフェ』のある佐久間町相月。「寄らずにゴメンね」と看板を横目に走ることに30分。いつか見たことのある町並みに入る。水窪の商店街。21年ほど前、地元「こい掘れワンワン塾」のメンバーと、居酒屋でわいわいわつたことを思い出す。いやああの時は若かつた。

さて、目指すつぶ食の『いしもと』さんは、商店街から少し離れたところにあつた古民家の居間を食事処にしたお店だつた。出された料理は、手打ちそば、在来種の水窪じゃがいもの煮物、糸こんにやくのみそ

煮、きびご飯、こごみ、くずの芽、ちそなすの天ぷら、ひえ・あわのスイーツ?。バサバサの手打ちそばと美味しい水窪じゃが・きびご飯は明確だが、あとは思い出せない、困つたものです。今村さんとオーナーの石本さんは、旧知で話がはずみ料理はそつちのけ!。こんこんと湧き出続ける話題は尽きることがなく、3時になつたのでおいとます。水窪の商店街(いがいに広かつた)小道をうろろろしながら帰途についた。少し元気が戻つた水窪路の珍道中でもあつた。(神原幸雄メダカ)

### ■姫街道検定 挑戦を!

東海道の脇街道「姫街道」。磐田市の見附から豊川市の御油までの約六十キロ。その姫街道に関するクイズラリー「第7回姫街道検定」が7月20日から始まつた。問題は三択形式の100問で、史跡の位置や展示物の内容など、知識を試すのではなく、現場に足を運んで場所を確認したり、案内看板を見たりして答えを出すよう設問している。問題用紙は五千部・浜松・磐田・湖西各市の観光施設などで配布している。奥浜名湖観光協会のホームページからダウンロードできる。解答期限は来年1月10日・参加費は千円。問合せは、姫街道沿いの歴史団体でつくる「姫街道連絡協議会、姫街道未来塾」上嶋裕志代表・メダカ。電話053・523・2958

### ■遠州の小京都 森町『森ほたる』開催

町民一人一人が行灯をとます。ふれあいの輪をひろげる『森ほたる』の行事が、森町の城下通り、中央通り、小御小路、下宿川原町通りなどで、8月6日から8月15日(土)まで、夕暮れから夜9時ころまで、家の前に行灯(あんどん)が点灯され、町

並みをほのかな灯りでつつみます。それぞれの町角やお店前では、もりもりまーけつとやギターの弾き語りやコンサートなどがあります。ぜひお出かけを、と。問合せは森ほたる実行委員会090・7854・9725村松達雄メダカへ。

### ■遠州大念仏「蝉しぐれの盆」

遠州大念仏「蝉しぐれの盆」が、8月15日(土)午後5時半から、磐田市敷地の永安寺境内で行われます。

遠州大念仏は、三ヶ原合戦における徳川・武田両軍の戦死者を弔うための念仏踊りに由来している。静岡県西部地区を中心に、約70組が遠州大念仏保存会に所属している。今回は数上子供念仏、浜松市浜北善地組、袋井市の木原組、磐田市(旧豊岡村)の大平組が出演します。鈴木正士メダカと神原幸雄メダカが実行委員として参加しています。協力金は500円。問合せは、磐田市豊岡東交流センター(053・62・6691)へ。

### ■福島県飯館村の長谷川健一さんを迎えて講演会

東北電力福島原発事故により家族がバラバラになつて避難生活を続けている。飯館村の長谷川健一さんを講師に迎えて、自然災害の恐ろしさを考えるための講演会を、9月19日(土)午前10時から、磐田市吉貫地の豊岡総合センター豊岡研修会館で開催します。

長谷川さんは、飯館村で家族と一緒に酪農をしていましたが、福島原発事故で廃業せざるを得ませんでした。震災後、地区のリーダーとして、被災した人たちの意見のまとめや、仮設住宅の確保に奔走。今は飯館村の現状を多くの人々に知ってもらうために、公演活動が続けています。マスコミで報じられない国等の行政の理不尽さ

や震災後の映像を使って熱く語ります。浜岡原発の三十キロ内に住む多くの方に聞いていただきたい内容です。ぜひお出掛けを!問合せは、飯館村を応援する会代表世話人 深澤明男メダカ。0539・62・4911

### ■哲学カフェ@磐田

毎月一回、哲学カフェが磐田アイプラザ一階のカフェで行われています。7月18日に第6回目が行われ、大橋町代メダカ、水村春江メダカにも参加いただいた。哲学カフェは、今、密かなブームとなつて、全国各地で行われている。

今回のテーマは「仕事」。参加者は14名、20代の若者から人生経験豊富な人たちまで。NPOで活動する人、個人事業者、団体職員、会社員と、様々な経歴の人たちが、経験から思うことを話す。気楽なおしゃべりなようだがそこは哲学カフェ、他者の話に耳を傾け、考え、自分の言葉で話す。「仕事はなんのために?」「日頃考えてみないことも考えてみる。問いに正解はない。「考える」ワークショップみたいだ。

プロの哲学者はいないが、問いを立て、他者を通して考える、それが哲学カフェの愉しみなのだろう。(村田徳治メダカ)

### ■第12回浜名湖フォークジャンボリー開催9・26(土)27(日)17時

音楽の街浜松、世界へ発信しよう!秋の一大イベントとして定着してきましました「浜名湖フォークジャンボリー」。

今年も全国各地から52の仲間が、駆けつけてくれます。歌う楽曲は、70年代ご存知の歌ばかり。夢多き青春時代へタイムスリップ、2日間思いっきり楽しみましょう。

入場無料・小雨決行・シャトルバス運行  
(舞阪駅II会場)お問合わせ: スタッフ  
中村明メダカ090・5108・131  
0

## 『人・ひと・ヒト』だより

●今年(戦後70年)中日新聞では連載記事組んでる。その中に『平和の俳句』がある。「自由とは平和なればの選択肢」奥宮教生メダカ。なんと奥宮教生メダカ。選者の金子兜太氏は、「平和でなければ自由は訪れない。戦争のない世の中で、自由に暮らすことが一番幸せ。この句の率直な言い方も自由で明るい」と。取材記事では、「戦後の少年時代、鮮明な記憶がある。父親は生きるか死ぬかを選ばずしかなく、戦争で人生を狂わされた男のやりきれなさが、今は理解できる」と。

●島田市の池谷俊裕メダカ。島田市の「ゆめ・みらい・百人会議」で『青年回復活』を本気で訴えている。以前は「青年の船」が暮れになると清水港より出航していたの。いい講師陣が揃った。(めだかの学校の言い出しっぺの第1回校長故平山豊氏も講師のひとりでした)。

●飯田市の玉置洋一メダカ。今年の10月末に南信濃区域内の国道152号小道木バイパス(三遠南信濃道現道共用部分)が開通します。9月には開通前イベントを計画。遠州の皆さんにも出店や演芸で参加して欲しい、だって。

●静岡市清水区の花井孝メダカ。強かで、元気で、洒落臭くて、何でも興味を持って首を突っ込む少年のようなジジイ達のための最後の砦となる校風を伝統にして、入学の資格の中にブルックスブラザーズ、ジュブレス、ニューヨーカー等のトラッドファッションが似合う事の内容を、だって。

(笑)世界を股に戦った元プロのレーサー、今もスポーツカーで乗り回る格好いいジジイ。でも奥様には。ハイ。

●横浜市の山根圭二メダカ。名古屋市から息子さんのいる横浜に転居。最近習った『パタカラ体操(発声)』だ。では格好いいジジイ、バーバを指して!。大きな声でしつかり口を動かしてリズム良く、3回繰り返す。パバパバ、タタタタ、カカカカ、ララララ。もう一つ、大きな声でゆっくりと一語づつ。しつかり口を動かして『パンダの宝物』『パンダー!』

●掛川市の鳥山剛メダカ。浜松市引佐町のNPO法人浜川大好きの応援大使、遠州横須賀倶楽部、御前崎灯台を守る会、掛川市の北の入口になった倉真地区を桃源郷にするよう花の苗木を大量に提供し、地域おこしの応援をしている。第1回の時のように沢山の人が泊り、わいわいやるような雰囲気欲しいねえ、だって。(初代の学会、つみくさ)は宿泊もできた施設でした。あの時はマイッタナア。朝食、前日の給食の酢の混ぜご飯をおじやにして出さなんだから。(笑)25周年の時は、小國神社の大宝殿で泊込みでやりましょう!ハイ。

●磐田市の小林佳弘メダカ。9月5日(土)、6日(日)の2日間、磐田市見付で『第28回東海道シンポジウム見附大会』が開催される。実行委員会では「見附を知って欲しい」と4回講座を実施している。4回目の講座が、8月7日(金)午後七時~八時、見附交流センター(旧見付公民館)2F視聴覚室で、小林佳弘メダカが「見附の話」で講演しました。熱が込っていました。このシンポジウムには、今村純子メダカ、虫生時彦メダカ、榊原幸雄メダカも関わっている。

●藤枝市の小嶋良之メダカ。焼津・藤枝地区の新聞購読者のための地域情報誌「月刊

『むるぶ』(読む・見る・遊ぶ)を毎月送ってくれる。編集長は小嶋良之メダカ。今回はその中で注目記事!今、和紅茶が静かなブーム!。和紅茶の世界を拓く『世界和紅茶会議』を8月27日(木)13時~17時30分まで藤枝市の「はれの季 小杉苑」で開く。和紅茶とは日本紅茶のこと。近年、国産紅茶づくりが急増し、輸入紅茶とは異なった受給が見られるようになり「旨み」や「飲み方」など、「日本独自の紅茶」として発展していくことも予想される、とのこと。

●好奇心いっぱい皆さん、世界和紅茶会議へ。申込みはホームページより、先着順です。問合せは、世界和紅茶会議実行委員会事務局(株式会社共立アイコム内)小嶋良之さん。  
XXXX XXXX  
今回は紙面の都合でこれまで。  
12月の「めだかの学校」は開校90回。特集員を作る予定です。情報をお寄せ下さい。

## めだか春秋

愛する妻・チャーパーの大腿骨折の再手術で病院に持込んだ携帯のバイブが鳴りました。電話の向こうは「奥さんどう?」と榊原幸雄さんです。めだか通信で大病を知り、案じていたのですが、元気な声を聴いてほっとしました。

すると、「奥さんの悪い時に申し訳ないが、お願いがあるんよ。めだか春秋、書いて欲しいんだけど」と。了解したもののまとまりません。

めだかに集う人は、常識にとらわれることなく、自分の生き方を既に持った人達。そば「迷人もその一人?。ここだなあ、榊原さんの依頼の源は。各地の輝く人源(人間資源の造語)のエネ

ルギーに感染して、住む町や地域に伝染させたいという思いで、商工会議所勤務時代に「感動ビルス」を名乗っていた男が、畑の真ん中のそば屋のオヤジになり「そば」迷人」に変身しています。榊原さん等めだかとお会ったのもこの時でした。出合いが一杯で感動ビルス的生き方も楽しかったのですが「昔、人生五〇年。今健康人生七五年。二五年学び、二五年働き、残り二五年人生を楽しむ」と考え始めた五〇歳で卒サラを決め、決意の变身です。故に「そば好きを一人でも多く作って行く事」を目標にしたそば屋のオヤジですが、これとは別に、人生最大の目標とか何とか言っています。何じゃそれ?。いたって真面目めだかです。真の先進国は、平等の自覚・実践の国。日本の団塊世代の男は皆、家庭を顧みず「仕事・仕事」を理由に突っ走ってきました。甲斐あって経済大国となり生活は豊かになったものの人生も豊かにならなかったでしょうか。そば「迷人に限れば、卒サラの転機がなかったら、間違いなく定年離婚の危機だったでしょう。今頃、一人寂しい間の独身生活です。

ただ今、そば「迷人の愛する妻・チャーパーは、手術が終わりが付いてベットの上下です。人生を一日に例えるなら、確実に日没後に突入しています。可愛いチャーパーを幸せに。広がり日本男性に、こんな生き方!と願ひ、顔晴ります。

そば「迷人めだか(長谷川政夫)  
住所 〒505・0077  
岐阜県加茂郡坂祝町深堂482  
電話 0574・23・0291  
090・2612・5052  
メール sobadamei@nifty.com

# トピックス

## ■エイ・エイ・オー！今年のゆるキャラグランプリは、浜松市の浜名湖渚園で

ゆるキャラグランプリ2015は、11月21日から23日まで、浜名湖渚園で開催されます。いよいよインターネットによる投票が、8月17日(月)10時から11月16日(月)18時までおこなわれます。順位は、この期間の得票数と、グランプリの3日間(11月21日から23日)の決戦投票の合計得票数で決まります。

今年も全国から千数百体の「ゆるキャラ」がエントリーしているようです。グランプリ会場の浜松市「家康くん」。今年こそはと満を持しているようです。先日、鈴木康友浜松市長と応援団の人たちが「家康くん」といっしょにシユプレヒコールをあげていました。

お隣り磐田市の「しっぺい」も、7月25日の土曜日、JR磐田駅前のシユピロードで行われた「シユピロード夏祭り」での、激励会で、多くの市民と一緒に「しっぺい、いっぺい」と、氣勢を上げて健闘を誓い合いました。観光協会事務局長の榊原幸雄メダカも「しっぺい、いっぺい、シユピロードは、夜の8時半ごろまで、ゆか



た姿の若い人や家族づれなどで賑わいました。会場で行われた「ひょうたん池の水撒き」も、周辺の温度を4度ほど下げた

## ■『がんと生きる』でTV出演

浜松市雄踏町の藤田潤吉メダカ。6月27日に静岡市で開催されたフォーラム「がんと生きる」で、藤田潤吉メダカの追跡記録が紹介されました。第88回のめだかの学校の風景も入っていました。8月16日(日)のNHK・Eテレで、がんを患いながら前向きに生きる様々な人にスポットを当てた番組で放映されます。11月23日(祝日)には、「浜松・花蝶ちゃん」結成10周年で「浜名湖ちんどんフェスティバル」(仮称)を、雄踏文化センター大ホールで開催予定、だつて。

## ■事務局だより

テレビなどで各地の最高気温を伝えていきます。聞くたびに身体中から汗がじわーんと出てきます。みなさま、熱中症などにはくれぐれもご注意ください。

さて第88回めだかの学校は平成27年6月5日、校長藤田潤吉、教頭加藤ひとみ、用務員鈴木祐之。第88回は開校88回を記念しての特別授業。テーマも『はつばの校』祝米寿(88)。特に今回は「余命半年」とガンの宣告をされながらも、ちんどんという「笑差」を通して頑張る藤田潤吉メダカ。一緒にち



んどんをやりつつ副産長として夫を励まし支える久枝メダカと娘さん。

校長訓話では、ちんどんや、59歳をすぎたから高校と大学の資格を取得したこと、ガンの闘病生活を語る。先生の田邊哲メダカは貧乏神社やガンをポンという名称にしたとか、限界集落の引取り手のない日級神様を森町へ引取るシステムとか、ちんどんを通してのマトニティ講座などで笑わせる。8時20分からの質疑応答タイムは、藤田潤吉一座のちんどんと、プロのアコordeオン奏者の娘さんの演奏などであった。事務局の榊原幸雄メダカもなんとか閉校時間まで踏ん張りまし



た。

さて第89回めだかの学校の職員会議を7月10日(金)午後7時から学舎で開く。第89回は23期の期初になり、通年テーマと89回のテーマ、授業などについて、校長松島季実代、教頭内田貴久、用務員の高田正人は欠席したが、15名ほどの職員が出席して話し合う。なんだかんだと言いながら、通年テーマは『足元の歴史に学ぶ』に。89回のテーマは、それを受けて「むかし、むかし、そのむかし」に。先生は古代史などに詳しい大島たまよメダカ。科目は歴史「日本のあしもと古事から学ぼう」。質疑応答などの時間も使って先生と校長との対談風にする。進行役の内田教頭のみまです。よろしくと。

## ■第23期の受け付けています。

第23期のめだかの学校は、平成27年9月1日から平成28年8月31日までです。8月1日現在42名の生徒が継続手続きをすませています。締切りは8月31日までです。9月4日の第89回めだかの学校でも受け付けますが、必ず手続きをしてください。

手続きのなされない生徒は名簿からはずれ自主退学となります。ご注意ください。新しく入学を希望される方がいましたら、事務局までご連絡ください。資料と申込書を送ります。

## ■今回めだかの学校だより遅れてごめんなさい。

いつもお手伝い頂いています鈴木武史メダカ、伊藤英雄メダカ、石野省三メダカ、田村進治メダカ、服部守孝メダカ、間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い榊原明美さんありがとうございます。

## ■めだかの学校だよりの原稿を！

次回の発行は、11月1日予定。締切りは、10月20日、90回ですので着って原稿を！郵便かFAXで。メールの方は、《mabuchi-trd@yr.tnc.ne.jp》 間瀬亮太090・50009・0986です。(メールの方は割付の関係もあるので一報を。)

## ■めだかの学校の事務局

〒438・0105 静岡県磐田市家田529番地20 榊原幸雄方 TEL 0539・62・6691 (FAX同じ)  
 ※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一宮3150。電話0538・89・7730 開校日の午後4時以降のみ使用可。携帯080・1612・9130

